

講義名	(対面)研究演習		
講義コード	45169	授業形態	
担当教員	岸野 啓一		
開講期・曜日・時限	後期 木曜日 5時限		
備考			

ゼミ
学部ゼミ・学科ゼミ

学部
全学部

学科
全学科

演習名
交通計画入門

概要説明

人々の暮らしや様々な経済活動を支えるため、「交通」は重要な役割を果たしています。また、便利で、快適で、円滑で、安全な交通サービスを提供するには、質の高い「交通計画」が欠かせません。

このゼミでは、
1) 専門書や入門書をみんで読んで、交通計画の基礎知識を身に付けること
2) 現地でのデータ収集や実態調査を行い、交通の現状を肌で感じ取ること
3) 収集したデータの解析などを行い、交通計画に関する知見を深めること
4) 解くべき課題を見つけ、解決方法を考える力をつけること

を行います。
その対象は様々です。個人的には観光地交通に興味がありますが、配属される学生諸君の興味やその時々的情勢、タイムリーな話題などに応じ、具体的なテーマを設定します。

想定されるテーマの例：
交通需要予測手法のイロハ
観光地における交通円滑化計画
大規模イベントの観客輸送計画
過疎地域における生活交通の維持計画
人口減少社会における公共交通計画
などなど

各年次の進め方については、テーマによって細部は異なりますが、たとえば次のような形で進めることを想定しています。
2年次は、関連する文献の輪読や関連する成果のレビューなどを中心に進め、基礎知識を身に付けます。
3年次は、現地調査や現地視察などを通じて、データを収集するとともに、データを集計・分析し、問題点の整理などを行います。
4年次は、それまでの勉強の成果や集めたデータなどを活用して、計画づくりに取り組みます。これらをまとめれば卒業論文になるよう、進めていきます。

学位
博士(工学)

教員よりの要望

テーマによっては、数値データや数式を扱うことがあります。エクセルを使う機会も想定されます。まず、この点に留意して下さい。常に前向きに物事を考えることが、このゼミのモットーです。多少の困難や問題があっても「できる方法」を見つける気概を持った人は歓迎です。問題点を見つけて「できない理由」を並べ、前に進もうとしない人は否弁されると思います。

なお、研究演習 は対面授業で実施する予定となっていますが、新型コロナウイルス感染症の状況により、オンライン授業に切り替わる可能性があります。その際には、RYUKA Portalの講義連絡などを通じてお知らせします。

教員英字氏名
Keiichi Kishino
研究室
研究棟 2702研究室
最終学歴

神戸大学大学院工学研究科市民工学専攻 博士課程後期課程修了

主な研究活動・社会活動・研究業績

〔研究テーマ〕
観光地やイベントの交通対策
（検討プロセスの体系化、需要マネジメントの方法論、効果検証、対策の評価など）
人口減少社会における公共交通計画

〔研究業績〕
(1) 著書
バスサービスハンドブック(共著・編集幹事、2006年、土木学会)
地域でつくる公共交通計画-日本版LTP策定のてびき-(共著、2010年、国際交通安全学会)

(2) 論文
岸野啓一、中尾司：トラフィックカウンターデータに基づく観光入込客数の推計，第8回都市交通政策・観光・交通行動研究に関する国際セミナー，2017．
岸野啓一：自治体による広域的な生活交通の確保方策に関する課題について，土木計画学研究・講演集，Vol.56，2017．
岸野啓一，高本恵三：活動機会を考慮したコミュニティバスの運行計画に関する実証的研究，第34回交通工学研究発表会論文集（研究論文），2014．
など

〔社会活動〕
・国際協力機構（JICA）国際研修・社会資本整備コース講師（1996年～現在）
・生駒市地域公共交通活性化協議会アドバイザー（2011年～現在）
・西宮市公共事業評価委員会会長（2019年～現在）

主な卒業論文のタイトル

今年度から専任教員に採用されたため、実績はありません。

趣味・特技

〔特技〕 楽器(トロンボーン)の演奏。若い頃は学生オーケストラ、市民オーケストラで活動。現在は休職中。
〔趣味〕 クラシック音楽を聴くこと。鉄道に乗ること。ドライブすること。
数字と戯れること。たとえば4桁の数字(車のナンバーや電話番号)を順に使って10を作るなど。(研究室の2702だと、2×(7+0-2)=10という具合)

所属

経済学部経済学科

所属学会

土木学会、交通工学研究会、日本都市計画学会、日本福祉のまちづくり学会

専門分野

総合交通計画、公共交通計画、交通需要予測、観光地交通計画

選考方法

個別ガイダンスは必ず受けて下さい。基本的に書類に基づき選考します。状況により面接(面談)をすることがあります。

担当科目

地域まちづくり概論、地域交通政策、地域再生論、都市情報解析、行政学、広域行政論、研究演習 、空間情報解析(大学院)

備考

評価方法

ゼミへの出席状況、ゼミの活動に対する評価(発表内容、レポートの内容)、ゼミへの取り組み姿勢(積極性や貢献度)などを総合的に勘案して評価する。

実務経験の有無及び活用

実務経験あり。関係者の了解が得られる範囲で、実務の成果や得られたデータをゼミの題材として活用。実務の現場でフィールドワークを実施。